



甲津原の民俗誌を寄贈いただきました (9月30日)

東草野文化保存会代表、東草野まちづくり懇話会座長の法雲俊邑^{のりくも しゅんけい}さんが執筆、発刊した本を10冊寄贈いただきました。タイトルは「落人と木地師伝説の地甲津原のまちおこし」で、甲津原の自然環境や歴史、顕教踊りやオコナイなどの伝統行事を紹介したものです。

今年3月に国の重要文化的景観に選定された「東草野の山村景観」対象地域の一つ甲津原地域の魅力を知ってもらおうと、地域の方々からの聞き取りや資料を集め、3年がかりで完成させました。法雲さんは「この本が甲津原のまちおこしになれば」と話しました。

寄贈いただいた本は、市内の図書館や資料館の蔵書とし活用します。



元気はつらつ！ ねんりんピック出場を報告 (10月17日)

10月4日から栃木県で行われた「ねんりんピック栃木2014」に滋賀県代表として出場した市の選手らが米原庁舎を訪れ、市長へ結果を報告しました。ねんりんピックは、60歳以上の人を中心としたスポーツ、文化の競技大会や誰もが楽しめるイベントも開催される健康と福祉の祭典で、昭和63年以降毎年開催されているものです。

今回の大会には、マラソンに中川寿美代さん、ソフトボールに喜田和男さん、ゲートボールに和気巻恵さん、草川不二子さん、草川隆さん、樋口照男さん、北川治太郎さんが出場しました。美術展には彫刻部門に畠田敏幸さん、写真部門に清水哮さんが出品し、畠田さんは、栃木県知事賞を受賞しました。市長は「市でもスポーツを推進し、健康寿命を高めようと取り組んでいる。これを具体的に実現されているみなさんには、若い世代の見本となっていたきたい」と今後の活躍を激励しました。



ラオス国立農業研究所職員が 市内で農業体験 (10月24日)

ラオス国立農業研究所の10人が、農村ホームステイで米原市を訪れました。これは京都大学東南アジア研究所が、国際交流と人材育成を目的に今年初めて実施したものです。参加者とホストファミリーは、伊吹庁舎で入村式を終えた後、甲津原、大久保、柏原、宇賀野の4軒に分かれ、2泊3日でさまざまな農業体験を行いました。

10月24日、甲津原の山崎トミ子さん宅では、研究員3人が甲津原の特産品であるミョウガの植え付けや、ミョウガの漬物の袋詰め、栃餅作りなどを体験しました。3人は「昔ながらの知恵を生かした手法や、家から徒歩圏内で生産から販売までできることに驚いた」と感想を話してくれました。

